



あゆみこどもえんだより



令和 8 年 9 月 社会福祉法人あゆみ会 あゆみこども園 大江町大字藤田字大花 402-4

HP アドレス <https://www.ayumi-kodomo.jp> TEL 0237(62)3220

Mail アドレス mail@ayumi-kodomo.jp FAX 0237(62)3260

園長 小関 義人

ここ数年、残暑が厳しい年が続いており、今年はどうなることと思っておりましたが、日中はまだまだ暑い日もありますが、お盆辺りから朝晩涼しくなり、ようやく当たり前の気候になったかとホッとしたのも束の間、各地で豪雨に見舞われ、大きな被害を受けています。ともすれば、別な地域では水不足で、農作物に大きな影響が出ているなど、極端な気候になっております。大江町でも護岸工事が始まっていますが、雨に伴う災害が起こる頻度が高くなっています。自分は大丈夫と過信せず、災害が起こる前に万が一に備えましょう。

先週末、0歳児の保護者の皆さんと保護者会役員さんの協力のもと、プール撤収作業と園庭整備作業をしていただきました。ご協力感謝いたします。これから体を動かしやすい季節がやってくるので、たくさん体を動かして、お友だちと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います。来週の土曜日は、レクリエーション会があります。行事に向けて準備物のご用意などありがとうございます。当日は、親子一緒に楽しい時間となりますように。

6

1

2

2



～9月1日は、



防災の日

～

最近、災害が起こる頻度が高くなってきています。災害が起きる前に再確認をして、万が一にそなえることが重要になってきます。今のうちに見直しをしましょう。

『防災チェック』

●注意点や必要なものをチェック

災害が起きたとき、やるべきことはなにか、またどんな物が必要になるのかを調べておきましょう。子どもと一緒に自宅周辺を散歩しながら、避難場所までのルートも確認しておくといいですね。

身の周り、家の周りの危険性を確認しましょう。
落下・転倒防止対策を行いましょう。
火災防止対策を行いましょう。
身の安全対策を行いましょう。
家の中の安全チェックを行いましょう。

●非常袋は子ども用品も忘れずに

非常用のアイテムをまとめて用意しておけば、もしものときにすぐに避難できたり、ライフラインがストップしてしまったときの備えにもなります。セットで売られている一般的な非常袋には子ども用のアイテムは入っていないので、おむつなど年齢に合わせて必要なモノを用意しておきましょう

ミルク・哺乳瓶や離乳食・おむつ・おしりふき・子ども用の防災頭巾・子ども用の薬・下着・洋服・おもちゃなど



『赤ちゃんがいる家庭』

●地震に備えたお部屋の見直しを！

赤ちゃんの場合は、ベビーベッド周りを、おすわりしたり、一人遊びができる赤ちゃんなら、日頃遊んでいるリビングなどの空間で、ものが落ちたり倒れてくるものがないかを確認しましょう。

タンスなどは倒れないように固定したり、タンス自体は倒れなくても、タンスの上に乗せている箱が落ちてくることもありますから、別の部屋に移動するなどしましょう。倒れ防止の突っ張り棒もありますが、可能なら壁に固定してしまう方が、安心です。赤ちゃんが過ごす空間にテレビがあることも多いと思いますが、地震でテレビが倒れてくることもあり、要注意です。テレビが薄く大型になっている場合もあります。テレビ画面は不安定ですから、ひもなどを使って、壁に固定するなどしておきましょう。ものが多くて、安全な空間の確保が難しい場合には、テーブルの下に突っ張り棒のように補強できるものが、ホームセンターなどで売られています。そのようなものを利用するのも一案です。



～足に合った靴を履いていますか？～



これからの季節は、お散歩や外遊びの楽しい季節で靴を履くことが多くなります。

今履いている靴は、お子さんの足に合っていますか？

『きつい』、『ブカブカ』、『転びやすい』ということはありませんか？

『歩き始めから正しい靴を履き、正しい歩行運動を身につけることが健康な体をつくっていく』

と、言われています。子どもが大人と同じような歩行動作ができるようになるのに、10年近くかかると言われています。足の骨が形成される時期に、体に合わない靴を履かせると、発達を阻害し、変形したり扁平足になったりします。お子さんの成長に合わせ、足に合った靴を選んであげましょう。

また、自分で履ける年齢になったら、一人でも履きやすいかどうかを見て、子どもにとって良い靴を選んでいきましょう。